



今回は第1回課題研究入門講座(アクティブラーニング講座)についてお伝えします。講師は中京大学総合政策学部教授の坂田隆文先生で、1年生全員が受講しました。

## 第1回 課題研究入門講座 (アクティブラーニング講座) 5月17日

日 時 : 平成28年5月17日(火) 第6限~7限

講座名 : 「アクティブラーニングの意味と意義について」

会 場 : 本校錬進館(武道場)2階

### 【講演の内容】

「社会人力」をキーワードに、社会に出たときに求められる資質について、生徒は考えるきっかけを得ました。社会に出ると、はっきりとした正解のない問いについて考える必要があり、学校での問いとの違いについて認識する機会を得ました。

今後の社会において必要とされるコミュニケーション能力、主体性、協調性を身に着けるために、自ら主体的に課題に取り組む必要があることはもとより、仲間を巻き込む工夫が必要であることが確認されました。

今後は、「仲良しグループ」でないグループを組織し、それぞれのグループが「関の刃物を世界に広める」ことを目指し、その方法を考えていくことが示されました。



### 【生徒の感想】

■今回の講座で、答えのない問いに対して考えることは、難しいけれども、おもしろそうだなと思いました。主体的に物事に取り組むことで、社会人力を鍛えることができると聞き、是非取り組んでみたいと思いました。「関の刃物」について知っているようで、知らないなので、今回の講座を通じて、それについてもより深く知ってみたいです。

■「何事にも自分から」という坂田先生のメッセージが心に残りました。自分は、授業中でもどちらかといとなかなか発言したり、発表したりできていません。グループに分かれて、関の刃物について考えるけれども、そのグループの中で、できるだけみんなに貢献できるよう発言したり、調べ物をしたりして、頑張りたいと思いました。

■アクティブラーニングでは、答えが「なんでもあり」ということかなと思いました。私は、そういうのが好きなので、いろいろな視点から物事を考えて、他人とはひと味違うアイデアを出したいと思いました。